

# 【ブギドノン地域の生計向上支援】

## － 第3回現地活動報告 －

《PASC通信》  
No.-03  
2022年10月

今回のトピックス\_写真は、左からCUDBASワークショップ、アバカファーム視察、高校訪問



アバカの木とバナナの木は、ひと目では見分けがつかない



### 活動を共にした人や主な面談者

- NICA地方局の局長や職員の皆さん\_National Intelligence Coordinating Agency (国家情報調整機関)
- PhilFIDA地方局の局長と技師\_Philippine Fiver Industry Development Authority (フィリピン繊維産業育成機構)
- TESDA地方局傘下の訓練校の校長や訓練科長、農業分野の指導員
- 支援している村の人たち
- IP高校の職員や生徒たち\_ブギドノン州の州都にあるアジアでも唯一の先住民族のための高校
- フィリピン政府の協同組合開発局の局長補佐\_Cooperative Development Authority (CDA)

## 第3回現地活動日程

2022年	活動
10月16日(日)	マニラへ移動
10月17日(月)	カガヤンデオロへ移動 NICAにて打ち合わせ:NICA地方局長、PhilFIDA地方局長など
10月18日(火)	NICA、PhilFIDA、TESDA、PASC、その他関係者のZoomでの合同会議
10月19日(水)	カリキュラム開発ワークショップ
10月20日(木)	コース名:アバカの生産(基礎) アバカの種苗から収穫まで
10月21日(金)	1. Luyungan High Schoolの視察 ☞同行者:NICA地方局長及びAD 2) アバカモデル農園視察 ☞PhiFIDAのマークさん同行
10月22日(土)	活動のまとめや草の根申請書の作成作業など:久米、大久保
10月23日(日)	午前:申請書作成など。午後:マニラに移動。
10月24日(月)	1) アバカ生産に関心のある資産家と面談 ☞宿泊ホテルにて、4:30PM~6:00PM 2) フィリピン政府の協同組合開発局の局長補佐と面談 ☞アバカ産業育成の意見交換など ☞宿泊ホテルにて、7:00PM~9:00PM ☞Wilmaさんの旧友で大の親日家
10月25日(火)	帰国

# 写真による活動紹介(写真はPASC提供) - ①

NICA地方局長との活動打ち合わせ



NICA地方局での会議



NICA地方局での会議後の集合写真



村の集会所でワークショップ



村の集会所でワークショップ



村の集会所で  
ワークショップ



## 写真による活動紹介(写真はPASC提供) - ②



ブギドン州には、大きく分けて7つの先住民族が住んでいる。アジアでも唯一の先住民族のための高校(Luyungan High School)を訪問し歓迎を受けた。



アバカ生産者を訪ねた。アバカ200本とバナナ100本その他、ゴムの木やジャックフルーツなどが目についた。右の写真はアバカの葉の特徴(バナナとの違い)

# アバカに関する基礎情報



乾燥中のアバカ繊維 ©PASC



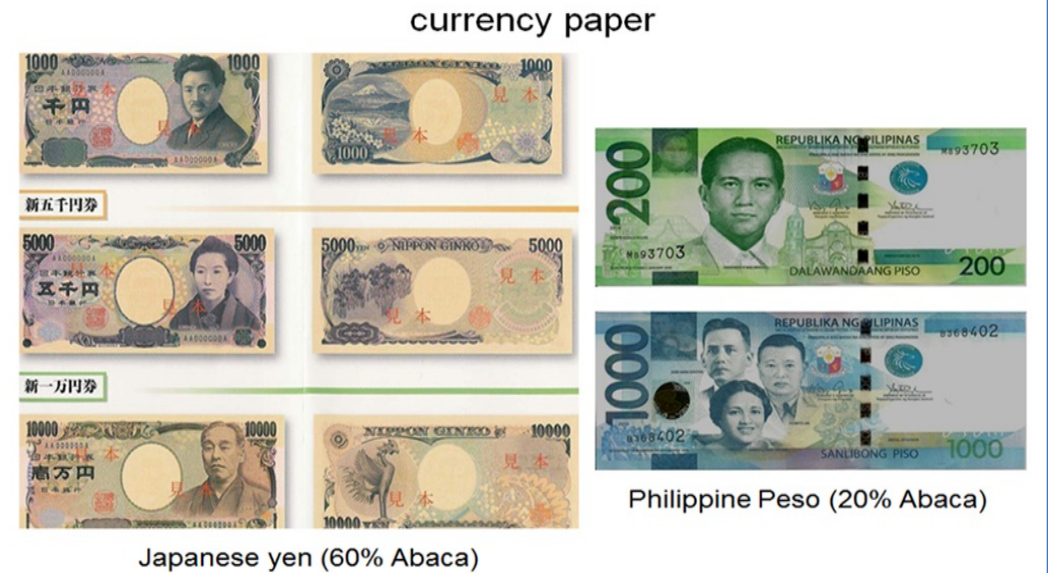
手作業によるアバカ繊維の梳き作業 ©PASC



機械による  
アバカ繊維  
の梳き作業  
©PASC

- ① 和紙、ロープ等を製造するための自然素材原料として古くから利用されてきたマニラ麻の世界供給量の約8割はフィリピン国で生産されている。近年、産業用特殊紙原料(紙幣やコンデンサー絶縁紙等)としての需要の高まりを受け、マニラ麻の市場価格は上昇傾向にある。
- ② 手作業により麻繊維の抽出を行うため、生産効率が悪い。農民一人一日あたり15kg/人程度の生産量が目安とされ、生産量が少ないうえに品質が悪い。(写真中央)
- ③ 作業の機械化を推進しており、スピンドルマシンでの機械漉きの場合、日産150kg~200kgに生産が向上する(写真上の右端)

《JICA業務完了報告書「フィリピン国 スピンドルマシンを利用した産業用特殊紙原料(マニラ麻)の品質・生産性向上に向けた案件化調査」令和元年7月(2019年)》から引用



PhilFIDAから提供された事業紹介資料より

# ワークショップ成果品:アバカ生産プロセス基礎コースの訓練カリキュラム

## 訓練コース計画表

コース名称	アバカ生産プロセス (基礎) アバカ繊維抽出プロセス(基礎) アバカ繊維品質チェック(基礎)
コース理念 (コース開設のニーズ)	AbacaのGAP(適正農業規範)の開発は、農家が国内および国際市場での競争力を強化する高品質の繊維を生産するのを支援することを目的としている。また、持続可能な農業を促進する天然資源の適切な使用を通じて、農家が生産性を向上させ、害虫や病気から作物を保護するのにも役立つ。このように、国を掲げてのアバカ生産性向上の政策に応じて、拡大する同産業の雇用ニーズに貢献する適正技術を指導する訓練コース開発は緊急の課題である。
コースの達成目標	訓練受講中に以下の技術、技能を修得する: 1.土地の準備 2. 苗(育苗)管理 3.植物個体群管理 4.雑草管理 5.栄養管理 6.害虫および疾病管理 7.収穫
訓練定員	30
訓練受講条件	アバカ生産者/アバカを生産したい方
訓練実施場所	PhilFIDAのアバカ農園
訓練期間	5日間(8時間/日、計40時間)
訓練予算	食費、教師謝金、ペン、ノート
訓練担当者	Instruct and Technical Unit / PhilFIDA
訓練コースの特徴	実習や講義を同時にアバカ農園で実践的に指導

## 訓練時間配分表

科目名	担当者	訓練時間配分表														
		1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	計				
開講式、評価、閉校式	全員	2													8	10
農園管理					8											8
感染予防							8	8								16
農地整備と植栽			2	8												10
繁殖管理						8	8									16
収穫									8							8
育苗管理		6	6													12
計		8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	80

## CUBBAS チャート\_対象職業及び職位

実施日:	参加者氏名:	アバカ(マニラ麻)生産農家												
ABLカードに記入する重要度の考え方: A・B・C *各能力項目は、能力開発後の到達目標として、以下のA・B・Cで重要度で表す。 =A:完璧に習得すべき能力 B:習得しておくべき能力 C:概要を把握しておいた方がよい能力														
DUTY	ABILITY1	ABILITY2	ABILITY3	ABILITY4	ABILITY5	ABILITY6	ABILITY7	ABILITY8	ABILITY9	ABILITY10	ABILITY11	ABILITY12	ABILITY13	ABILITY14
栄養不足を特定し、適切な肥料を適用することができる	1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	1-7	1-8	1-9	1-10	1-11	1-12	1-13	1-14
農園を管理する	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6	2-7	2-8	2-9	2-10	2-11	2-12	2-13	2-14
農地を整備する	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	3-6	3-7	3-8	3-9	3-10	3-11	3-12	3-13	3-14
植物の個体群を管理する	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6	4-7	4-8	4-9	4-10	4-11	4-12	4-13	4-14
害虫と雑虫のから予防(管理)する	5-1	5-2	5-3	5-4	5-5	5-6	5-7	5-8	5-9	5-10	5-11	5-12	5-13	5-14
苗を管理する	6-1	6-2	6-3	6-4	6-5	6-6	6-7	6-8	6-9	6-10	6-11	6-12	6-13	6-14
収穫を管理する	7-1	7-2	7-3	7-4	7-5	7-6	7-7	7-8	7-9	7-10	7-11	7-12	7-13	7-14
雑草の管理をする	8-1	8-2	8-3	8-4	8-5	8-6	8-7	8-8	8-9	8-10	8-11	8-12	8-13	8-14



## 訓練到達目標一覧表

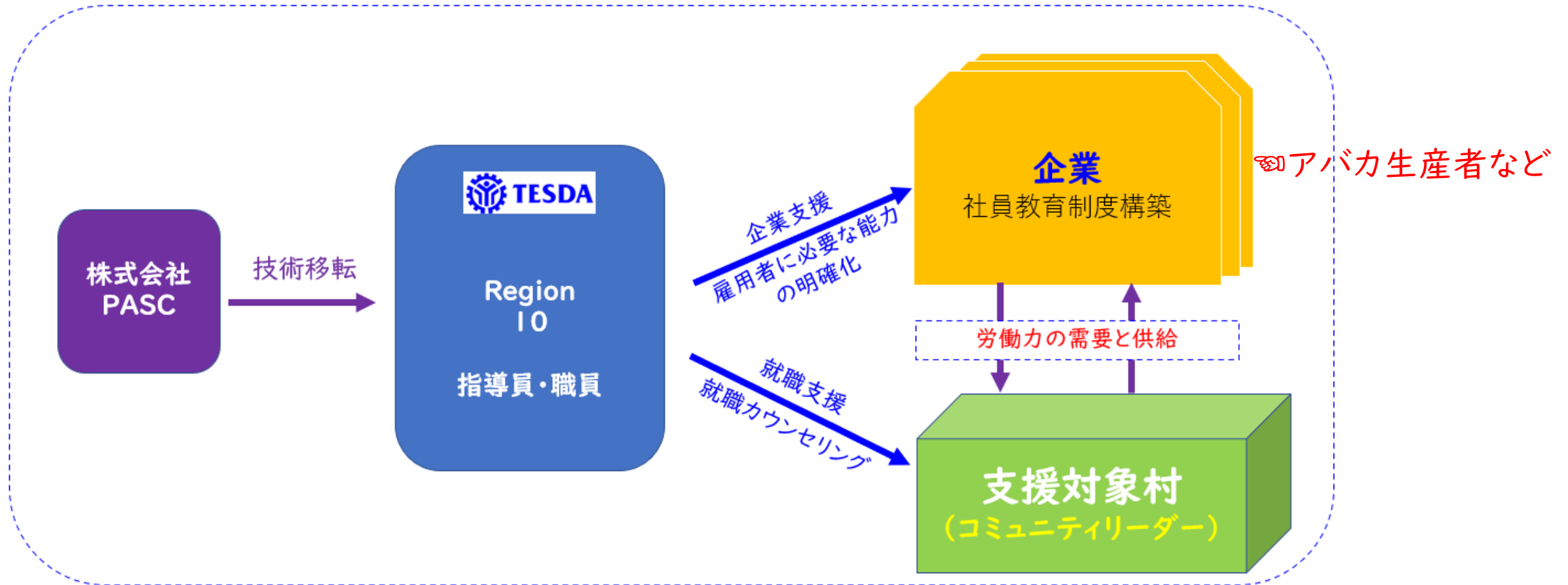
科目名	技能						知識						望ましい態度						
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
農園管理																			
感染予防																			
農地整備と植栽																			
繁殖管理																			
収穫																			
育苗管理																			
訓練の企画時間	8	24	16	16	8	16													
訓練到達目標	3-2B 茎を除去する目的を知っている	7-3B 土地の除草と適切な半径を知っている	2-4A 農園の地形を知っている	1-6A 施肥前の活動を知っている	6-2A さまざまな道具や機器の使い方と収穫方法を知っている	5-3A 植樹する苗の高さを知っている													
	3-4C 植え替えのための適切な道具で茎を切ることができる	7-2B 雑草防除ができる	2-2A 農園の標高を知っている	1-2A さまざまな肥料の種類と用途を知っている	6-6C 葉の除去活動の適切な処理を知っている	5-8B アバカ苗を畑に移す月数を知っている													
	3-3B 不要な茎の除去ができる	7-4C 種の木、太陽光の透過、コントロールを知っている	2-3A 農園の適切な広さを知っている	1-4A 肥料の安全保管、適正廃棄・保管の態度が取れる	6-1A 収穫するのに最適な時期を知っている	5-7B サイズ、葉の数、形に基づいてアバカ苗の分離を知っている													
	3-1A 植え替えのための茎の適切な距離と理想的な高さを知っている	4-8B 噴霧器による殺虫作業にPPEを使用できる	2-1A 土壌の種類を知っている	1-5B 有機肥料の作り方と農薬の作り方を知っている	6-4B 収穫前に葉を取り除く(切る)ことができる	5-9B 苗の輸送について知っている													
		7-5C 除草に使用する適切なツールと材料を知っている	2-7C 農地整備に必要な道具を使うことができる	1-3A 肥料のスケジューリングと量を知っている	6-5B 母木の伐採の程度を知っている	5-1A 植物成長ホルモンによる種子の浸漬を知っている													
				1-1A 栄養不足を特定し、適切な肥料を適用することができる	6-3A 収穫中に萌芽の世話をする方法を知っている	5-2A 培養土と培養土の準備を知っている													
						5-6A アバカ苗の育苗管理と水管理を知っている													
10日目	開講式						育苗管理						育苗管理						
9日目	収穫						評価会						閉校式						
8日目	感染予防						感染予防						感染予防						
7日目	感染予防						感染予防						感染予防						
6日目	繁殖管理						繁殖管理						繁殖管理						
5日目	繁殖管理						繁殖管理						繁殖管理						
4日目	農園管理						農園管理						農園管理						
3日目	農地整備と植栽						農地整備と植栽						農地整備と植栽						
2日目	育苗管理						育苗管理						農地整備と植栽						
1日目	開講式						育苗管理						育苗管理						

## 訓練スケジュール

時間	08:00-09:00	09:00-10:00	10:00-11:00	11:00-12:00	12:00-13:00	13:00-14:00	14:00-15:00	15:00-16:00	16:00-17:00	
1日目	開講式			育苗管理			育苗管理			
2日目	育苗管理						農地整備と植栽			
3日目	農地整備と植栽									
4日目	農園管理									
5日目	繁殖管理									
6日目	繁殖管理									
7日目	感染予防									
8日目	感染予防									
9日目	収穫									
10日目	評価会									

# 「JICA草の根パートナー型」による活動イメージ

- ▶ 極めて大まかな概念図ですが、以下のようなイメージでTESDA地域局などをパートナーとして活動を展開していく計画です



# 活動のまとめと今後の活動計画

## 支援ニーズ

ミンダナオは40年以上の国内紛争により地域開発が大きく遅れている。国も大統領のリーダーシップのもと、《National Peace Framework》政策が展開され貧困地域の生計向上に取り組んでいる。

### 活動のまとめ

#### ブギドノン地域の生計向上支援

- 残念ながら最初のティラピア養殖は失敗した
- 失敗も貴重な体験であり、仲間達との喜怒哀楽も共感に!!
- ラントウド村では鶏卵、バナナなど街への輸送手段に困窮
- 街の市場に運ぶ換金作物があれば、帰路に必需品が運べる
- 高校進学者が増えているが、通学費用にも困窮か？（下宿?）

#### JICA草の根パートナー型の申請

- 10月の現地調査活動から得た経験や情報をもとに、申請書を修正して11月11日にJICA東京に提出した

#### (株)PASCのフィリピンにおける研修プロバイダー事業の可能性

- 今回のアバカ生産にかかる研修コース開発に類似した活動は、過去にマレーシアで多く経験している

### 今後の活動計画

- ティラピア養殖の継続
- 支援ニーズ把握
- 輸送手段の支援検討
- 軽トラの供与を検討

☞ 村から要望書、管理規則や使用台帳の取付



30万ペソ（約75万円）

- PASCのような零細企業での受注が叶うのか？ という不安はあるものの、採択されることを祈るのみ
- 採択されれば、ミンダナオ開発という大きな課題に貢献すべく、職業訓練施設が企業の求人ニーズと貧困地域の求職者ニーズをマッチングさせる制度の構築に全力を尽くす
- アバカ産業の関連企業その他、マニラやミンダナオの大手企業などに営業活動を計画
- 営業ツールの開発作業の開始